

# 「一筆啓上・作左の会」 令和元年度 研修旅行

## 歴史の中に、三英傑（信長・秀吉・家康）の息吹を感じる城

# 国宝・犬山城（別名 白帝城） そして城下町 を探る！

### 「あいち航空ミュージアム」も見学



現存天守12城のひとつ。現存天守で日本最古

立地；<sup>ヒラヤマ</sup>平山城（平野の中にある山、丘陵等に築城された城のこと）

天守構造；望楼型（天守大屋根の上に望楼が乗っているような構造）

三重四階地下二階（入口のある石垣の中が地下の1階と2階、石垣より上が三重(外)四階(内)。従って計6階）

複合式（天守に付櫓や小天守を直接接続するもの。付櫓がある）

天守高さ；約19m。地上より約24m。（石垣 約5m）

築城年；天正6年（1537年）

築城者；織田信康（信長の叔父）

廃城年；明治4年（1871年）

指定文化財；天守（国宝）

主な城主；織田氏、池田氏、石川氏、成瀬氏

### 集合・出発

会長・副会長はローソン駐車場でバス待ち 7:26



7:29

←ローソン出発



↓宮地町 乗車 8:06



8:33

副会長 ご案内

8:24

参考写真 成瀬姫



成瀬氏第13代犬山城主  
（2004年まで）

成瀬家13代当主の妹。  
公益財団法人 犬山城白帝文庫 理事長  
成瀬淳子さん

8:26

### 【会長挨拶】

本日は研修旅行へのご参加ありがとうございます。今年は犬山城と航空ミュージアムに行きますが、いい天気になって良かったです。

今、犬山城も成瀬姫も人気があります。市橋さんの講演で、成瀬家は岡崎・真宮町（六名郷）の出身と聞き、より身近になりました。ぜひ、一日楽しんでください。





**道中⇨到着**

9:12



休憩

守山PA



⇨小牧IC  
9:31

天守

⇨犬山城駐車場 9:58



本丸門（鉄門）

**犬山城 探訪**

10:00 3班に分かれ、それぞれにボランティアガイドさんがひとりずつついてくれました。



2班



探訪スタートです。

道の向こうは三の丸のあったところ。↓

10:06

中門



10:07



9:20

**【兵藤相談役 ミニ講演】**



- いつもは横山さんがお話をされていましたが、今日は欠席ということで、私に依頼がありましたので、替わりはできませんが、少しお話をさせていただきます。
- 作左ゆかりの地を訪ねる研修旅行ですが、14回も重ねると訪問先の選定も難しくなり、家康とからめてということになります。犬山城は、小牧長久手の戦いの中心の一つですが、この戦いには作左も参戦しています。この戦いは全国をまきこんだ戦いで、第一次関ヶ原の戦いとも言えます。
- 犬山城の秀吉の軍勢10万に対し、小牧山の家康は2~3万と劣勢でしたが、この戦いは戦術的（戦闘）には家康の勝ちと言えます。しかし、合戦から半年以上して秀吉と（家康に支援を要請した）織田信雄が和睦してしまったため、家康は大義名分を失い、戦略的には秀吉の勝利となりました。
- 家康は、軍制を整備し、西三河は石川数正、東三河には酒井忠次を配しましたが、内政面では三奉行を設置しました。その一人が作左で、作左の活躍は内政中心でしたが、ことあれば、各地の戦いに武将として参加もしていました。
- 家康は、知れば知るほど奥が深いです。更に勉強して理解を深めていきたいと思います。



10:08 天守へ向かう

5つの門をくぐって本丸へ。

友好都市「日南市」から寄贈のベンチ



日南市（飢肥藩）から嫁を貰った縁で交流が長く続く。 10:09

「空堀」跡 掘って、その土を左に… 10:11



上り坂

10:12



「黒門」跡 大手道第3の門

10:13

「本丸門（鉄門）」

10:16



黒門の礎石

天守への道をクランクにしてある。



本丸門(入口) を入ると  
「天守」正面 10:17

**4 鉄門 (くろがねもん)**  
Kurogane-mon (Gate)

江戸時代には、本丸を守るための最後の関門として鉄金具を打った「鉄門」がありました。古絵図から門の上が櫓になっている櫓門と推定され、厳重に守られていました。

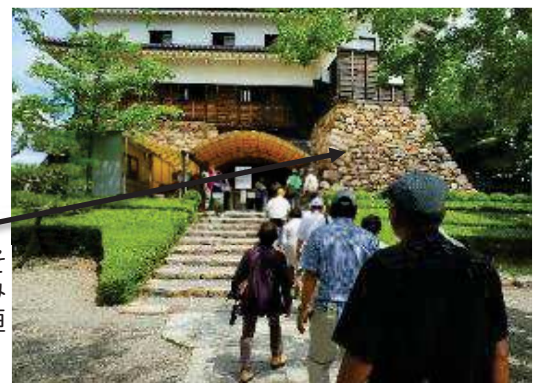
本丸門が入場口になっている。  
入城料金； 一般 550円  
入場者数 618,949人（2018年度）



10:21

天守に到着

野面積み  
自然石をそのまま積み上げた石垣





## 犬山城 築城

【位置】 犬山は、尾張国と美濃国の境にある。この地は、尾張の織田氏にとって重要な土地。  
 【前史】 織田広近（守護代の織田敏広の弟）が、守護斯波義敏の命により、斎藤氏に対する備えとして木ノ下城を築城し、さらに乾山（いぬいやま）に砦を築く。（1469年。この砦が、犬山城のはじまり）

木ノ下城址…現在の犬山城の南1kmあたり。今は愛宕神社。 乾山…現在の犬山城の所。

【築城】 織田信長の叔父・織田信康が城主になり、1537年、木ノ下城より城郭を乾山の砦に移して犬山城を築城。現在の天守の2階までが、この時代に作られたと考えられている。

## 天守

入城・靴は持って… 10:22

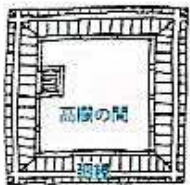


地下2階

急な階段を上る 10:23



地下1階 野面積みの石垣・太い梁



### 四階(望楼)

回廊は成瀬氏による増築とされ、高欄と廻縁がまわる望楼となっている。

### 1階 屏風「四戦場の図」



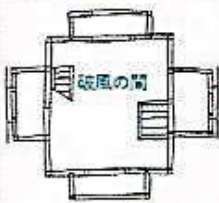
10:22

鎧兜も



↑大名配置と石高

10:27



### 三階

唐破風は成瀬氏によって増築されたといわれている。東西には入母屋破風が施されている。

### 「白帝城」命名の由来



### 二階

中央は武具の間で武具棚が備えられ、その周囲を武者走りが巡っている。



10:27

木曾川沿いの丘上にある城の佇まいを、長江流域の丘上にある白帝城を詠った李白の詩「早發白帝城」（早に白帝城を發す）になぞらえて、荻生徂徠が白帝城と命名したと伝えられる。



### 一階

中央部に第一の間、第二の間、上段の間、納戸の間の四室に分けられ、それらを武者走りが取り巻いている。



10:28

古い鬼瓦も展示



### 地下一、二階(穴蔵)

天守の出入口があり、天守を支える石垣や太い梁を見ることができる。



「上段の間」と「武者かくしの間」 10:29



上段の間  
籠城の場合、  
城主の座居に使用した。

〔奥の間〕  
武者かくしの間  
万一を警護する  
武士の詰所。



「武者走り」  
幅広い

10:30



2階へ

**2階**

「武者走り」 10:31



国宝5城の写真が飾ってある。 10:33

2階から「犬山橋」方面（東）を望む。 10:32



3階へ 10:34



日本のお城は、かつては2万5000以上あったが、現在は一般的に見学できるのは200城ほど。そのうち、江戸時代以前からの天守が現存しているのは12城である。

天守 … 日本の戦国時代以降の城に建てられた象徴的な建造物の名称。一般的に今日見られる本格的な5重以上の天守の最初のものとしてされている

は、織田信長が天正7年（1579年）に建造した安土城の天主（信長はこう命名した）であると言われる。「天守閣」は江戸時代後期に生まれた俗称。明治に入って一般的な言葉になっていった。

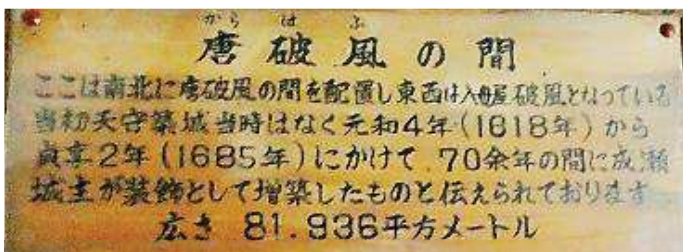


現存  
天守  
12  
城

「国宝5城」… 松本城、犬山城、彦根城、姫路城、松江城  
「重要文化財7城」… 弘前城、丸岡城、備中松山城、丸亀城、松山城、宇和島城、高知城  
\*西日本に多い。四国には4城。  
\*丸岡城（福井県坂井市）は、本多作左衛門ゆかりの城。

**3階**

天守は、築城時（1537年）に、下の2重2階の主屋が建てられ、1620年頃に3、4階を増築（犬山成瀬家初代当主 成瀬正成の時。2階の屋根裏だったところが3階になった）。その後唐破風の付加などが行われて現在の姿になったと考えられている。



唐破風とは？

破風のうち、中央が弓なり状にせりあがっているものをいう。破風…切妻造や入母屋造の屋根の妻の三角形の部分。

4階へ



10:36





唐破風  
城を華美に見せるための造り。  
魔除けの瓦  
亀の甲羅に桃がのった形をした魔よけ。



**4階（望楼）**

4階は、城には珍しい、床に赤じゅうたん

成瀬家歴代の城主

10:37



“最古の城になぜ絨毯？”  
成瀬家第7代城主の成瀬正壽（まさなが）  
がオランダ商館長と親しかったため、  
絨毯を取り寄せ、最上階に敷いたとの  
こと。昭和の改修工事で再現。

最上階からの景色は最高！廻縁（まわりえん）で360度見放題。

10:38

御在所岳 伊木山 ライン大橋

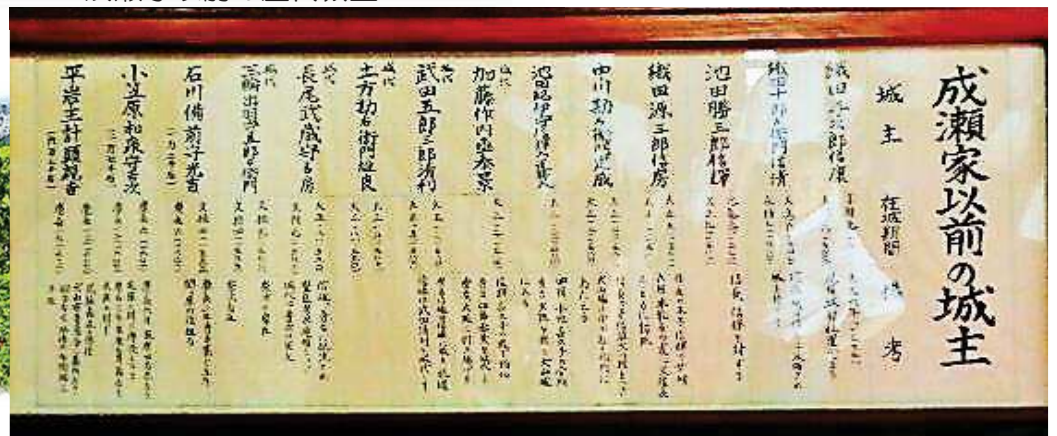
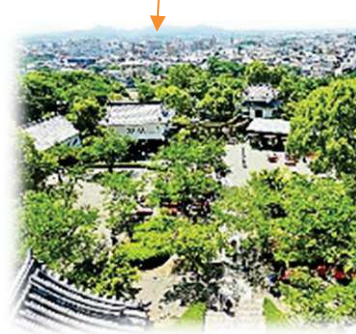


回廊は成瀬氏による増築とされ、高欄（こうらん）と廻縁（まわりえん）がまわる望楼（ぼうろう）となっている。  
高欄（欄干）の低さが低い。もちろんネットなどない。そのうえ回廊の床が、外側に向かって傾斜してる。∩(´▽`)/∩

成瀬家以前の歴代城主

10:40

10:39 本宮山





## 歴代城主の歴史から

初代 織田信康（信長の叔父）… 築城（1537年）。1547年死去。

二代 織田信清（信康の子）… 信長に反抗したため攻め落とされる（1564年）。甲斐国に逃亡。

織田信長の支配下に入ったと思うが、1565～1569年の間、城主不明

三代 池田恒興（信長の乳母の子）… 姉川の戦いで活躍し、犬山城主となった（1570年）。

四代 織田信房（信長の五男）… 甲府で武田信玄の人質となっていたが、1581年に勝頼によって戻され、犬山城主となった。本能寺の変の時、二条御所にて討死。

五代 中川定成（信雄の家臣）… 1582年から城主。羽柴秀吉方が侵攻した、織田信雄の領地 北伊勢に出陣し城に不在の時、羽柴軍に寝返った池田恒興（前々城主）に攻められ、1日で犬山城は落城。（1584年3月13日 小牧長久手の戦い）

徳川家康 小牧山城へ 清須城から急ぎ小牧山へ（3月15日）小牧山城入城（3月18日）

羽柴秀吉 犬山城入城 3月21日大阪城出発、27日犬山城入城。28日犬山・楽田（城）に本陣。

六代 池田恒興 … 家康の本拠三河国を攻めようとしたが、長男と共に討死（5月18日）。

池田家は二男の輝政が継ぐ。後に輝政は姫路城主に（初代姫路藩主）。

織田信雄が家康に無断で、秀吉と和睦。犬山城は信雄に変換。池田恒興以後、城主・城代はたびたび変わり、以後は何代か定かでない。数人飛んで、以下に続ける。

石川貞清（秀吉の家臣）… 1595-1600年 関ヶ原の合戦で敗れたが、後に江戸幕府の御家人に。

小笠原吉次（松平忠吉の家臣）… 1600-1607年 家康の四男で松平家の養子となっていた松平忠吉が清洲藩藩主になると、家康の命でその付家老となり犬山城城主になった。

平岩親吉（徳川義直の家臣）… 1607-1612年 清洲藩は弟の義直が継ぐが、義直は名古屋城を築城し、尾張藩を立藩する。（徳川御三家のひとつ尾張徳川家）  
平岩親吉は、徳川十六神将の一人で家康の信頼が厚く、義直の付家老として犬山城に住ませた。（幸田町の出身）

成瀬正成（尾張藩付家老）… 1617-1625年 平岩親吉の死後、平岩家が途絶えると、家康に乞われて、尾張藩の付家老に任じられ犬山城を与えられた。  
小牧長久手の戦いが初陣。翌年には根来衆50名を17歳にして任される。犬山成瀬家初代当主。成瀬家は、足助（三河成瀬郷）の出身。松平氏4代当主の親忠が安祥城主になった（初代安祥松平家）とき、これに従い、安城の木戸村・岡崎の六名郷（真宮）に住した。

○以後、幕末まで、成瀬家が城主を務める。

○1871年（明治4年）廃藩置県で犬山城は愛知県の所有となり、天守以外のほとんどの建物取り壊し。

○1891年（明治24年）濃尾大地震で天守が半壊するという被害に会い、明治28年に、修理を条件に元の城主である、犬山成瀬家第9代当主成瀬正肥に譲渡された。天守は、成瀬家と犬山市が義援金を募り、無事修復された。

○昭和10年 国宝に指定。（昭和27年再指定） 全国唯一の個人所有の城として保存されてきたが、平成16年（2004年）「財団法人犬山白帝文庫」の所有となる。

枯れた大杉 10:45

出城 下ります。 10:41

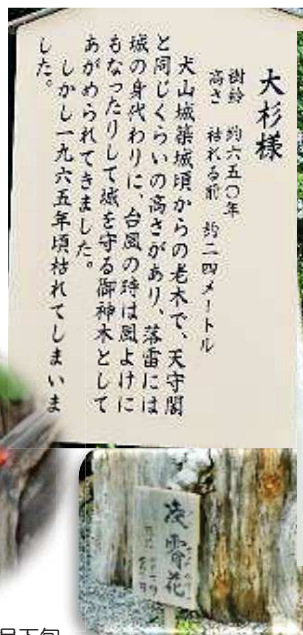


下りがまた怖い！

参考写真

開花 6月下旬～7月下旬

天守を守った大杉



大杉様



凌霄花（ノウゼンカズラ）が絡んで、よじ登る。

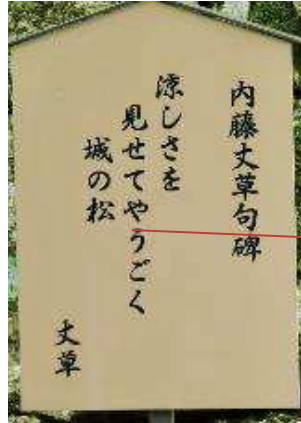
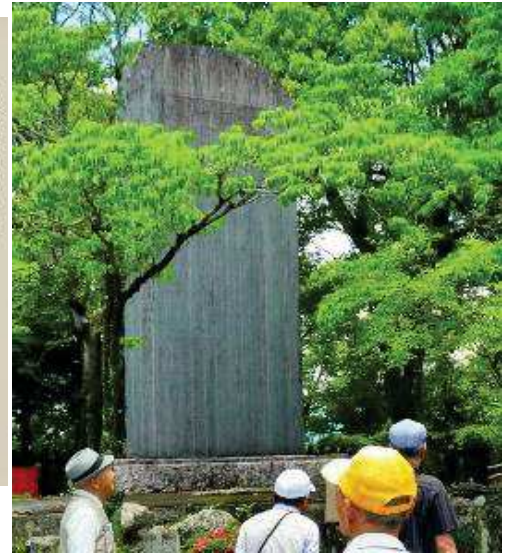


音から見た「石落とし」

10:48



高節凌雲霄（石碑）  
第九代犬山城主成瀬正肥公は、幕末から明治にかけて、国政の難しい時期に尾張藩主徳川慶勝を助け、勤王の立場で、諸問題を解決した。その功績を顕彰するもの。



内藤丈草…芭蕉の門人 成瀬家家臣の子

10:52



10:49

成瀬正肥…成瀬家第9代当主（城主）。成瀬の血筋ではなく、丹波篠山藩の三男で養子。江戸時代には、「犬山藩」という藩は存在しない。成瀬家は尾張藩で最大の知行を領する付家老としての犬山城主であった。1868年（明治元年）の王政復古の際の

「維新立藩」により朝廷から正式に大名と認められ、成瀬正肥（まさみつ）公は犬山藩主として尾張徳川家の尾張藩から独立する。版籍奉還により犬山藩知事になるが、明治4年の廃藩置県で県となり、「犬山藩（3万5千石）」の時代は3年だった。

維新立藩でできた藩の一部…徳川宗家の「駿府藩」、田安藩、一橋藩、御三家付家老の藩（犬山藩・田辺藩・新宮藩・松岡藩など）、岩国藩（支藩から昇格）、琉球藩 などなど



「からくり展示館」（犬山市文化史料館）  
犬山祭の「山車からくり」や「座敷からくり」を展示。からくり人形制作の様子や茶運び人形の操作も実演。  
11:02



本町通り



犬山は城下町が形成された時代のままの町割りがほぼ完全に残されているが、本町通りは城下町のメインストリート。

11:03



### 犬山城下絵図



犬山城の城郭と城下町の形態を元文5年(1740年)に描いたものを明治4年に写した絵図です。右の航空写真と比較しても、道路や社寺の配置など「縦構え」の特徴が良く残っているのがわかります。(詳しい説明は裏側にあります。)

高い信号

11:07

ヤマ車山蔵

11:08



犬山祭では、華やかな車山(やま)が古い町並みを巡行する。城下町であった13の町より、13輛の山車が曳き回される。犬山の山車は3層構造で高さが8mもあり、「やま」のように大きなことから山車を特有の別称車山(やま)と呼ぶ。信号も高く設置してある。車山蔵は、三階建を2階まで組み立てたまま格納する。

参考写真



本町の車山

“折角だから、一度着てみようと思って…”



お母さんのチェック(\*`艸´)ウツツ



11:09 本町通り 2階が低い



通りに面した部分が通常の建物より低い2階建て(天井が低い)構造で裏側は平屋(屋根裏)となっている。〔「ばんこ二階」と呼ばれる、この地域周辺の特徴的な建築様式。木曾川を流してきた材料の長さに関わりがあり、それより高くできなかったことが原因だとも言われている〕

着物・浴衣のレンタルも人気!

11:13





旧磯部家住宅

江戸期の建築様式を持つ木造家屋。「柏屋」の屋号で呉服商を営んでいた。



- 「起り屋根（むくりやね）」… かまぼこ状にふくらみを持たせた屋根。犬山の町屋でここだけ現存。
- 敷地は間口が狭く、奥行きが広い「ウナギの寝床」のよう（間口6.4m、奥行き58m）で、中庭、裏座敷、土蔵などもある。入場無料。

土蔵

11:18



店



座敷

11:17



腰部は海鼠壁（なまこかべ）



本町通り 戻り

11:26

気になるお店





犬山城終了

11:46



昼食終了 13:19



### あいち航空ミュージアム

14:13

名古屋空港到着 14:07

名機百選 14:17



零戦

14:23



楽しみました、(^o^)

15:00



旅の終わりのお見送りは、東郷PAのツバメの子でした。巣立ちも近いです。私たちもまだまだ負けずに…！「(^・ω・^)」ﾌﾞｯ!

お疲れ様でした。役員の皆さんありがとう。m(\_)\_m

### 付録：成瀬淳子さんのお言葉から

○先代城主の父親からの教え

“『一に犬山城、二に犬山城、三、四が無くて五に家族』。だから一にも二にも犬山城のことを考えて。犬山城と運命をともにする。”

NHK WEBニュースより

○「徳川家康公の家臣で尾張藩付家老の成瀬正成が1617年に入城して以来、われわれ成瀬家が城主として犬山城を守ってまいりました。成瀬家の城主は代々、犬山城に何かがあったら腹を切るという覚悟を持ってきました。私たちの命の前に犬山城がある、自分たちが全財産を失っても犬山城は守らなければならない。私もこうした教えの下に育てられてきました」

○\*イケメン犬山城は四季折々、美しいお城です…「正月から春先は朝日ですね。夏場は夕日。秋から冬にかけては、赤くなった夕日に映える城の漆喰の白さが素晴らしいです。季節ごとに美しさが違うんです。川面がきらきら光る時もきれい。夏は、陽が落ちかけると今度は木曾川に鶺舟がやってくるんです。木曾川と鶺舟とお城の作る風景は、ほんと幻想的です。春先の霞がかかった中に浮かぶ城もいいですよ。まさに桃源郷」

○「父からお預かりしたときに、啖呵を切って、私に任せなさい、と言ったんですけど、父が生きていた時代の私の考えは甘かったと、今、思うんですね。重いです、国宝の城を預かるなんてものすごく重いです。ただ、負けるわけにはいかないのです。私が負けることによって犬山城がガクッとってしまわないように、どんな時代が来ても、犬山城がこの土地にあり続ける仕組みをつくるのが、私の使命だと思っています」

以上 聖マリアンナ会 対談シリーズ「いのちを語る」より